

新

新刊コミックを借りて下さいね。たこさん入ります。

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書日より ドラマ定時は みもろい
毎週とせんでんか

ももも書店

第13話

R1.5.30(木)

「本という名の海に
飛び込みましょう。」

★今回、紹介する本は、『スガリさんの感想文はいつだって斜め上』（著/平田駒、出版/河出書房新社）。

ちょっとライトな感じの小説なので、中学生にはぴったりじゃないでしょうか。ということで、読書感想文をテーマにしたプチミステリー小説を。

主人公は、男性の家庭科高校教諭。ひよんなことから、「読書感想部」をつくりたいと願う女子高生の須賀田さん（通称・スガリさん）と出会う。そして、二人は日常で出会う謎を一緒に解いていくー。

この作品では、夏目漱石の『ころろ』と、新美南吉の『手袋を買いに』が取り上げられ、スガリさんのものすごい視点からの感想文をもとに、謎がひもとかれていく感じが新鮮です。読書の感想をとおして、物事を新しい見方で捉えることの大切さを伝えてくれるし、本そのもののすばらしさがわかるすてきな1冊です！



うまきやれば、映像にもいけやうてやね。

史をたべるこせ。
本をよむこせが
好きな女の子が
すごい洞察力をみせま

落ち着いて、目を凝らした
者だけ、相手の本当の
"ころろ"が見える。』
(p.85)

ちょっと文章
が若いね。

かなり
独自の
読書
感想文
が
あもしろ
すぎる!!

相手の言葉のありの
ままを受け止める努力を
私は怠りません。』
(p.183)

